

令和5年度 大阪府立生野支援学校 第2回学校運営協議会 議事録

日 時	令和5年11月20日（月） 10：00～12：00	
場 所	大阪府立生野支援学校 図書館	
出席者	委員	多田 龍弘、閑喜 美史、永井 隆、半田 工
	学 校	国津 賢三（校長）、大卷 雅彦（教頭） 森 大介（首席）、岩城 智也（首席）、中野 貴啓（首席・中学部主事） 奥谷 美帆（高等部主事）、菱沼 恵理（小学部主事）
		傍聴人
	議 題	1. 「支援学校と地域との連携や交流」について 2. 「新校舎に関する進捗状況」について 3. その他
協議内容	<p>開会時、高等部3年キャリアアップコース生徒による「茶育」の成果発表が行われた。</p> <p>1. 学校長あいさつ 新型コロナウイルス感染症の「5類」移行を受けて、現状は特に大きな制限もなく、対面での交流を再開し、学校行事を計画通りに進めることができていることについて報告した。</p> <p>2. 「支援学校と地域との連携や交流」について 地域との連携や交流の本校の事例として、小学部では、地域の小学校との学校間交流の様子、中学部では、企業での体験実習について報告した。高等部については、保育園、福祉サービス事業所や企業、地域のお祭りへの参加といった異年齢の方々との連携や交流について報告した。特に異年齢の方々との活動の中で、自分が置かれている状況を考慮して、周りの人のために行動する姿が印象的だったことを報告した。 協議委員より、放課後等デイサービス事業所での現在行われている様々な機関との連携について情報提供いただいた。相談支援事業所との連携を密に取りながら児童生徒への支援や進路について考えたり、過去には、教員が夏季休業期間中を利用して放課後等デイサービス事業所に見学したりすることもあったとのこと。そういった機会を通じて、学校と連携を深めることができるのではないかという助言を受けた。</p> <p>3. 「新校舎に関する進捗状況」について 地域住民向けの説明会等を含めた進捗状況について報告を行った。支援学校と高等学校の児童生徒同士が交流したり、共に学んだりする実践校の具現化に向けて、児童生徒の声を反映させたり、人や場所で区切らない、繋がりはカリキュラムで作るといった真のインクルージョンをめざした学校づくりを行ってほしいという助言を受けた。</p> <p>4. その他 学校見学において、授業でタブレット端末を活用していた教員が、できればタブレットではなく、教員が直接関わる方がいいのではないか話す様子が見られた。協議委員より、生徒自身がタブレット端末を操作して調べたり、解答をしたりすることは、自己決定の場を提供しているという見方や効果が期待できるのではないかという助言を受けた。</p>	
協議資料	「支援学校と地域との連携や交流」について（スライド資料）	
備 考	学校見学	